

# 公民館だより さくらぎ



平成17年 12月号

No. 213

桜木公民館

周南市城ヶ丘2-4-21

TEL 0834 (28) 5973

FAX 0834 (29) 0788

[sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp](mailto:sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp)

## ＝文化の祭典＝

## ＝装い新たに登場＝



アートと舞台芸術

静と動の文化が織りなす、新しい桜木文化の祭典が誕生しました。



11月19・20日の2日間、会場の桜木小学校は

2,000人の桜木文化人が交流する社交場となりました。

# 11月の活動記録簿

●桜木・今宿スポーツ交流会  
(11/15)「老連」



●城ヶ丘保育園児

(11/22)

勤労感謝の表敬訪問に

19名来館

花束贈呈

「おしごと

がんばってね！」



●文化の祭典

桜木フェスタ・文化祭 (11/19・20)



“食文化”  
お好みの味を  
どうぞ!



SLはいつの時代  
も大人気!



演技を際立たせる舞台装飾

“動の文化”  
音と踊りの舞台芸術初  
登場 (体育館ステージ)



餅まきが終わるまで帰れません



運営委員さんによる

《リレー方式》

# 『押し花』

← 次回は...

私たちの講座は、今年7年目に入りま  
した。現在受講生は8人と少人数ですが、  
教室では先生の指導を受け、花の交換を  
したり和気あいあいの中、皆創作に一生  
懸命です。

押し花は、庭で育てた花や道端に咲い  
ている草花で誰でも手軽で簡単に始める  
ことが出来ます。押し花が一番美しく  
見えるように、背景の質感や色合いを考  
えながら、その花の雰囲気や合った作品  
(額)に仕上げます。出来上がった作品  
は世界でたった一つのかけがえのない物  
です。興味のある方は、ぜひ見学にいら  
して下さい。お待ちしております。

講座は第2・第4金曜日の10時から  
12時です。

(運営委員 流田 由美子 記)

## 2006年の初日の出き とおの山山頂で...

- ・「初日の出」の時刻は、7時20分頃
- ・平原登山口から6時15分頃登ればOK
- ・特定の引率者はいないので、随時登山のこと
- ・懐中電灯を各自で持参のこと
- ・山頂でおみくじとお神酒の接待があります

### とおの山登山道整備作業

とき 12月10日(土)

集合時間 8時30分

集合場所

- ①平原登山道ガード下
- ②なめら登山道入口

※草刈り機をお持ちの方、是非ご協力をお願い  
します。お手伝いをよろしくお願いします。

# 地区一斉クリーン作戦

12月18日(日)

皆さん揃って参加して、ご近所の方とふれあいながら、桜木地区を美しくしましょう!

さくらぎ  
パブリックガーデン

山口県と周南市から  
ダブル受賞!

## 12月

### さくらぎカレンダー

- 9日(金) 男のためのそば打ち教室
- 10日(土) とおの山登山道整備作業 (8:30)
- 13日(火) 公民館大掃除 (9:30)
- 18日(日) 地区一斉クリーン作戦

## 1月

- 1日(日) とおの山新春登山
- 7日(土) 新年ふれあい互礼会

※12/29(木)~1/3(火) 公民館事務室休み

☆☆ ほっと・にゅーす ☆☆

地区バドミントン大会 (11/13)

優勝

Aクラス	平原
Bクラス	城ヶ丘2丁目
Cクラス	桜木3丁目
	(体振)

### 《俳句コーナー》

・小春日や 砂遊びの児 笑顔見せ  
 ・霜の朝 半袖の子も 友を待つ  
 ・時雨来る 紅残る山 撫でて去る  
 ・どの軒も 吊し柿見ゆ 里の昼  
 ・犬連れし 赤き冬帽 遠会釈

(一洋)

### 【 編集後記 】

とおの山で「連理の枝」に匹敵する大変珍しい木に出くわしました。(前号の内容)

早速写真に撮って山口大学に問い合わせてみました。運悪く生物学の教授が出張中で回答が難しいとの詫びに添え、「タイガーロープの謎」の小論文が同封されていました。それによると、木の枝に引っ掛けられたロープが、幹の成長とともに樹皮が盛り上がり包み込まれていく様子が記してありました。

山頂の記念碑には、『とおの山の基礎開発奉仕作業は、桜木老人クラブ有志によって昭和61年11月に開始され、平成3年8月に完成した』と書かれています。開発以前の「けもの道」が現在の登山道に整備されたのは、長期間にわたる言語を絶する厳しい作業によるものと伝えられています。

ポンプ小屋入口から25m余り登った左端の樹木をご覧ください。地面から1m位の所にどなたかが忘れられたと思われる作業用ロープが幹を貫いて垂れ下がっています。厳しい作業の「コマ」を後の世に語り継ぐ遺産として残されたものではないでしょうか。

必見に値する迫力に満ちた光景です。